

第1回 いちき串木野市洋上風力発電調査研究協議会 協議録

- 日 時 令和4年3月30日(水) 14:00~15:30
- 場 所 防災センター 会議室
- 出席者 別紙のとおり
- 議事

2. 挨拶

市長：

- ・ご多忙な折に参加いただき、また、委員をお引き受けいただき厚く御礼申し上げます。
- ・昨今の異常気象の原因は地球温暖化だといわれており温室効果ガスの削減が世界的に求められています。
- ・国の方針としては、2050年にカーボンニュートラル。2030年に2013年を基準に温室効果ガスを半分に削減すると掲げられています。第6次エネルギー基本計画では再生可能エネルギーへ最優先で取り組むことも掲げられています。
- ・原子力発電一基100万Kwの発電と仮定すると原発45基分を洋上風力で賄おうというビジョンも公表されています。
- ・日本で洋上風力は事業が始まったばかりです。本市としては、いろいろな地域の情報や資料の収集整理を行い、関係する皆様や市民の方々の理解を深めながら調査研究をしていくことが大事だと思っています。
- ・洋上風力は産業面でいうと建設工事、工事終了後の運転管理など幅広い分野に関連します。
- ・今後、洋上風力による産業拠点化を含め民間事業者・いちき串木野電力と連携したエネルギーの地産地消など将来に向けたゼロカーボンシティを目指して取り組んでいければと思っている。
- ・委員の皆様には、本協議会を通して洋上風力に関する理解を深めていただくことが大事であると思っています。関係者はじめ市民、事業者、行政。共に連携して持続可能なまちづくりにつなげていくことを期待しています。

3. 委員紹介

A 委員が代表し受領。

5. 委員長の選出

事務局一任により、副市長が選任。

6. 委員長挨拶

副市長：

- ・国において再生可能エネルギーを主力電源として、また洋上風力を加速化させていく状況のなかで、本市沖合におきましても複数の事業者で計画がなされているところです。
- ・市としては、これを機に産業の振興、エネルギーの地産地消の取組を進めたいと思っています。そのためには、市民の皆様、関連する事業所の皆様の理解が深まることがポイントだと思っています。

- ・協議会では、事業を進めるなかでの課題について調査研究していくなかで機運を高めていけたらと思っているところです。
- ・協議会は来年度末までに4回計画されており、委員の皆様のご協力をいただきながら進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

7. 協議事項

①いちき串木野市洋上風力発電調査研究協議会設置の趣旨について

企画政策課長補佐：資料1 P4～P5 について説明。

【質疑】なし

②本市における洋上風力発電計画について

企画政策課長補佐：資料1 P6 について説明。

【質疑】

○B 委員：本市沖合の計画は原発何基分になりますか。

事務局：原発1基分を100万Kwと仮定すると0.4基～2.7基分程度です。

③講和「国のエネルギー施策について」（九州経済産業局）

松林電力・ガス事業課長：資料2及び映像により説明。

【質疑】

○C 委員：本市沖の計画海域の風速は7m/秒以上あるのでしょうか。

事務局：事業者の区域についてはNEDOの資料によると満たしています。

○C 委員：3社複合区域があるがどうなるのでしょうか。

事務局：入札により選定された業者のみが事業を行います。

○D 委員：先行事例はあるのでしょうか。

事務局：すでに事業者が選定されている地域もあります。

議長：先行事例については、本協議会でも紹介できればと思います。

○B 委員：本市はP52でどのような状況なのでしょうか。

事務局：一定の準備段階よりも手前の段階です。本市の協議会は任意の協議会となっております。本協議会を通して委員の皆様と勉強していきたいと思っております。

8. その他

事務局：今後のスケジュールについて資料1 P7 について説明。

事務局：本協議会の運営について経済産業省の補助を用いて委託事業者を入れて進めていきます。第2回目については5月に開催いたします。改めて日程調整させていただきます。